

陸平通信

OKADAIRA 2014年6月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター（陸平研究所）
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 79号

春の陸平を満喫！

縄文体験で1日楽しみました！

ゴールデンウィーク中の5月3日（土）、文化財センターでは縄文体験の日を開催しました。体験メニューは縄文土器作りや土笛作り、縄文クッキー作り、まが玉作り、田植え。当日は家族で来館していくつもの体験に参加された方も多く、文化財センターは1日たくさんの人で賑わいました。

縄文時代を学ぶ！

見学や体験で縄文時代について学習



小学生が陸平貝塚見学



落語の世界にひきこまれています



梅朝基礎落語

文化財センターでは、落語を楽しむ講座として好文亭梅朝さんを講師に梅朝基礎落語を昨年からは開講しています。梅朝基礎落語では毎回落語を2席、そして落語に関わるお話もあり、落語をより楽しんでいただける内容になっています。5月11日には「そろそろ」「井戸の茶碗」を披露していただきました。次回は9月7日（日）午後1時30分からです。どうぞご来館ください。

古代米の田植えをおこないました！

新緑のなか藤の花が咲き誇る5月初旬、陸平貝塚公園にある田んぼで今年も古代米の田植えが行われました。2枚の田んぼのうち1枚は縄文体験の日に、もう1枚は安中小学校5年生がそれぞれ田植えをしました。田んぼは陸平をヨイショする会里山部会が管理し、田植えや稲刈りでは体験指導を行っています。田植えのあとは草取りや水の管理です。秋の稲刈りが楽しみです。



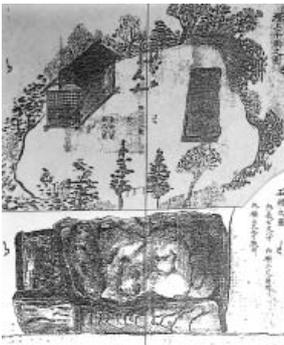
常陸国風土記

奈良時代にまとめられた地方誌 4

三つめは大塚地区の黒坂命古墳に関する内容で、風土記の逸文として伝わっています。

「黒坂命征ニ罰陸奥蝦夷、事了凱旋、及ニ多歌郡角枯之山一、黒坂命遇レ病レ身、故爰改ニ角枯一號ニ黒前山一、黒坂命之輪輻車、登ニ黒前之山一、到ニ日高見之國一、葬具儀、赤旗青幡、交雜飄颺、雲飛虹張、瑩レ野耀レ路、時人謂ニ之幡垂國一、後世言稱ニ便信太國一。」

（黒坂命は東北地方の蝦夷を平定し所期の目的を達成したので凱旋されたが、途中、多賀郡の角枯の山まで来たときに病氣となりついに亡くなられた。このこ



黒坂命古墳絵図

のみ登場する人物で東征の

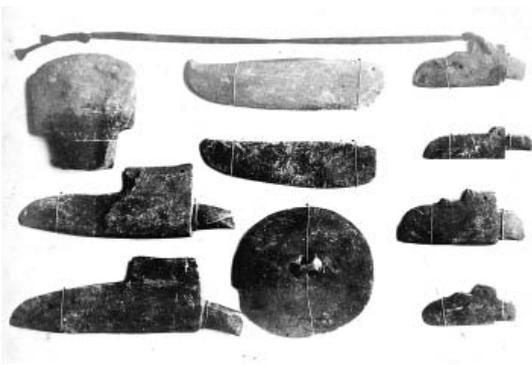


黒坂命古墳出土鏡

とがあり角枯を改めて黒前の山と名づけた。黒坂命の遺骸を乗せた車は黒前の山を出発し、日高見の國に到着した。その葬送の支度の装飾は、赤い旗、青い旗

がいりまじってひるがえり、それはあたかも雲が飛ぶようにも虹がかかったようにも見え、通り道の野原を照らし、路を輝かした。このようなことからその当時の人々は幡垂の国と云った。それから時代がたつて信太の国と称するようになった。）

英雄とされています。幕末（一八四七年）に弁天塚古墳から石棺、副葬品の剣や甲冑、鏡、石製模造品等が出土しました。その記録を土浦の国学者色川三中が『墳墓考』としてまとめ、さらに古墳は黒坂命が埋葬された墳墓ではないかと考察しました。以来、古墳は黒坂命古墳として伝えられています。



黒坂命古墳出土の石製模造品



黒坂命古墳（現在の様子）

四つめは大谷地区に関する内容でこれも逸文として伝わるものです。
「常陸國記云、採ニ大谷村之大榛一、本伐造レ鼓、末伐造レ琴、俗謂ニ比佐頭一」（常陸國記に云うには、大谷村に大きな榛の木を伐採して、根本の方の楯で鼓を造り、その先の楯で琴を造った。俗にいう「ひさづ」である。）
この逸文にある『常陸國記』が『常陸国風土記』をさすのかどうか、また、「大

谷村」については小美玉市（旧美野里町）の大谷や銚田市（旧旭村）の大谷川付近など諸説がありますが、幕末の安政六（一八五九）年に『常陸誌料郡郷考』を著した宮本茶村は、信太郡の大野郷（美浦村大谷）であると記述しています。

『常陸国風土記』は一〇〇〇年以上もの長い時代を経て伝わってきており、その内容については現在もなお研究されています。関東で唯一伝わっているおよそ一三〇〇年前に書かれた『常陸国風土記』は、現在暮らしている私たちにとつて当地域が歴史ある地域であることを改めて実感させてくれる書物です。

参考文献 『美浦村誌』『美浦村史研究』

陸平でのボランティア活動紹介

埼玉県蓮田市には国史跡の黒浜貝塚があります。さる4月13日、これから黒浜貝塚にボランティアとして関わる方々が研修先として陸平貝塚を訪れました。遺跡見学のほか、陸平をヨイショする会の皆さんが日頃の陸平貝塚でのボランティア活動を紹介しました。最近では各地域で遺跡の整備が進み、文化財ボランティアへの関心も高まっているようです。一足先に活動が始まった陸平をヨイショする会に対しても近年関心が寄せられてきています。



陸平貝塚が「みんなで！いばらナイト」で紹介されました！



さる5月7日の夕方、NHK水戸放送局の生中継番組「みんなで！いばらナイト」で陸平貝塚が紹介されました。文化財センターを会場に、陸平貝塚を守り楽しむボランティア活動をしている陸平をヨイショする会の皆さんが日頃の活動を紹介し、遺跡をいかしたまちづくりを中心に美浦村をPRする内容となりました。会場には村内の小学生もたくさん集まって番組を盛り上げてくれました。

卒業記念に 縄文土器作り



陸平貝塚のすぐそばにある安中小学校をこの春卒業した児童の皆さんが卒業記念に縄文土器を作りました。事前に縄文土器について勉強してから土器を作り、3月に野焼きをして完成させました。作った縄文土器をみて陸平貝塚を思い出してくれるといいですね。作品は今号の紙面に掲載しています。

陸平貝塚確認調査の報告書刊行！

平成24年度に実施した陸平貝塚の確認調査の成果をまとめた報告書が刊行されました。内容は、陸平貝塚で最も古い時期となる縄文時代早期（約8,000年前）の貝層と、その貝塚を残した縄文人たちの居住域の確認とを目的におこなった調査について、調査経過や調査で得られたデータ、調査でわかったこと等が記されています。報告書が刊行されたことにより、陸平貝塚を知るための貴重なデータがまたひとつ追加されました。報告書は美浦村中央公民館図書室や文化財センターで閲覧できます。



文化財センター夏の体験ご案内



参加してみたい体験がみつかったら申し込んでネ！
皆さまの参加をお待ちしております。

ひょうたんマラカス

申込・問合せ ▶ 美浦村文化財センター ☎ 029-886-0291 (休館日：月・祝日・7/22)

	開催日	時間	体験メニュー	所要時間	体験料	募集人数
7月	26日(土) 27日(日) 29日(火)	10:00～16:00	【26・27・29日 全日共通】			
			縄文土器	4時間	800円	
			ミニ土器	2時間	400円	
			土笛	1時間	300円	
			縄文クッキー	1時間	100円	各日20名
			まが玉	1時間	200円	
			さき織り(30×40cm)	1時間	500円	各日10名
			縄文服を着てみよう		無料	
			【26・27日のみ】			
			コースター作り	1時間	200円	
			ベルト作り	1時間	200円	
【29日のみ】						
ひょうたんマラカス	2時間	300円				
8月	6日(水)	9:30～16:00	陸平の植物で草木染め (くずでストールを染めます)		2000円	先着10名

【連続講座】 ハナリナを作って吹いてみよう(全2回) 講師：オカリナアートJOY 野口喜広

7月	31日(木)	13:00	①ハナリナの成形	1000円	先着15名
8月	21日(木)	～16:00	②自分のハナリナを吹いてみよう		

※連続講座は7/27申込締切。申込者が6名に満たない場合は開講いたしません。

♪ハナリナとは♪

鼻にかぶせて吹くオカリナのような音の出る笛です。
音域は1～2オクターブくらいです。吹くコツがわかると、
鼻歌を歌うような感覚で演奏できます。



ハナリナ

いばキラTVでも陸平が紹介されます

いばキラTVで配信される美浦村紹介番組の収録が村内数か所で行われ、陸平貝塚でも遺跡や体験のシーンが5月に収録されました。6月9日午後からオンデマンドで配信される予定です。いばキラTVは茨城県のHPから見ることができます。



美浦村の文化財に関するお問い合わせや情報は、文化財センターまでどうぞ。

陸平に記念モニュメント

“日本考古学の原点”として知られる国史跡「陸平貝塚」の保存と活用には、多くの人々がさまざまな立場で関わってきたことが今につながっています。現在、この活動に関わってきた有志が呼びかけ人となり、その活動を未来に繋ぐべく、記念モニュメントの建立計画を進めています。内容は、多くの人々の協力により、イベントなどで歌われている陸平の頌歌「陸平よ はるかに」の詩碑建立です。記念モニュメントに関心のある方は、文化財センターにお問い合わせください。

陸平よ はるかに
作詞 市川紀行
作曲 高橋美恵子
はるかに はるかに 時は過ぎても
タブの木はゆれ かわらぬ 風がふく
はるかに はるかに 時は流れても
野の花は咲き やさしい 風が吹く
よみがえる大地に 緑のまなざし
いまも歌う 縄文の子ら
いまもあふれる なつかしいほほえみ
よみがえる大地に 緑のまなざし
ああ ふるさとの ふるさとの
はるかな陸平 ふるさとよ